

はじめに

本書では、マイクロソフトの「WindowsXP」を対象に、Mapserver 本体と開発キット「Nez」のセットアップ方法をご説明しております。

必ず以下の注意事項をお読み頂き、同意される方のみご利用頂く事を前提と致します。

注意事項

1. 本書の著作権は株式会社システム・デザイン・ジャパン（以下弊社）に帰属します。
2. 本書を商用・非商用に関らず弊社の許可無く複写・複製・転用する事を禁じます。
3. 本書の利用者は自己の責任において利用するものとし、弊社は本書利用により直接または間接に生じるいかなる損害に対しても責任が無いものとします。
4. 本書は予告無く変更される事があります。
5. 本書での各ライブラリのバージョンは、執筆時点(平成19年3月26日)の最新版を利用しております。

- Mapserver -4.10.1 (Nez 用カスタマイズ版)

- PostgreSQL -8.2.3

- PostGIS -1.2.1

- Pear -1.5.1

- PearDB -1.7.9

- ms4w -2.2.3

■ 目次

1.	注意事項	3
2.	開発キット Nez のインストール	3
3.	PostgreSQL のインストール	4
4.	PostGIS のインストール	4
5.	デモ環境の構築	5
6.	デモアプリケーションの実行	5

1. 注意事項

- ① ログインユーザーにより各種モジュールのインストールディレクトリが異なる場合があります。環境に合わせ、オプションの修正を行ってください。
- ② データベースの接続文字列を変更する際は下記のファイルを修正する必要があります。

1. Zukeidb.php ファイル内\$zukei_dsn

- ③ ポート 8080 番以外を使用する場合、開発キット Nez インストール後、下記手順を実施して下さい。

(1) 「C:\ms4w\Apache\conf\http.conf」の以下の箇所を編集

Listen 8080 → Listen {使用ポート番号}

(2) 「Apache Service Monitor」にて“Apache MS4W Web Server”を開始してください。

(「サービス」からでも起動は可能です)

(3) 「スタートメニュー」の下記ショートカットの URL を編集

・「スタート - プログラム - Nez for Windows 1.0.3 - Nez for Windows 1.0.3 Demo Application の起動」を右クリックして「プロパティ」画面を表示してください。

・URL の下記内容を編集してください。

http://localhost:8080/... →http://localhost:使用ポート番号/...

2. 開発キット Nez のインストール

弊社 Mapserver 開発キット「Nez」をインストールします。

- ① 「Nez_for_Windows_1.0.3_gpl_with_pgsql.exe」を実行します。

実行時に必ず下記のメッセージが表示されます。

「インストールを行う前にポート 8080 番を使用するアプリケーションを終了させてください。」

ポートの利用状況を確認し OK ボタンを押してください。

3. PostgreSQL のインストール

データベース「PostgreSQL」をインストールします。

- ① PostgreSQL のインストーラを実行します。
- ② 「インストールオプション」が開きます。そのまま次へ進みます。
- ③ 「サービス構成」が開きます。そのまま次へ進みます。
- ④ 「アカウントエラー」が発生します。「はい」をクリックします。
- ⑤ サービス用のパスワードが表示されます。OK をクリックします。
- ⑥ 「データベースクラスタの初期化」が開きます。
エンコーディング：UTF-8 を選択します
パスワード：任意入力です（PostGIS のインストールで使うので覚えておく）
- ⑦ 「手続き言語を可能にする」が開きます。そのまま次へ進みます。
- ⑧ 「貢献モジュールを可能にする」が開きます。そのまま次へ進みます。
- ⑨ 「インストール処理」に進みます。そのままインストールを完了します。

4. PostGIS のインストール

「PostGIS」をインストールします。

PostGIS は、データベース「PostgreSQL」に地理情報を格納可能にした PostgreSQL の拡張オプションです。

- ① PostGIS のインストーラを実行します。
- ② 「Choose Components」が開きます。
Create spatial database：チェックを外します。
- ③ 「Choose Install Location」が開きます。そのまま次へ進みます。
- ④ 「Choose Install Location」が開きます。
Password：PostgreSQL のインストールで設定したパスワードを入力します。
- ⑤ 「Installing」に進みます。そのままインストールを完了します。

5. デモ環境の構築

デモ環境を構築します。

- ① pgAdminIII を起動します。
- ② オブジェクトブラウザツリーの PostgreSQL Database Server 8.2 を開きます。
- ③ PostgreSQL のインストールで設定したパスワードを入力し、OK をクリックします。
- ④ オブジェクトブラウザツリーのデータベースを右クリックし、ポップアップメニューから新しいデータベースを選択します。
名前：sdjdemo を入力します。
オーナー：postgres を入力します。
エンコーディング：UTF-8 を選択します。
Template：「template_postgis」を選択します。
- ⑤ オブジェクトブラウザツリーのデータベースから sdjdemo を選択し、「クエリーツール」を開きます。
- ⑥ クエリーツールの「ファイル開くボタン」をクリックします。
- ⑦ C:\ms4w\apps\nez\include\sdjdemo\zukei.sql を選択しクエリーを実行します。

6. デモアプリケーションの実行

- ① 「スタート - プログラム - Nez for Windows 1.0.3 - Nez for Windows 1.0.3 Demo Application の起動」を実行します。